

武蔵野教育學論集第15号： 目次,執筆要項,編集後記,奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 武蔵野大学教育学研究所 公開日: 2023-10-31 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000078

武蔵野 教育学論集

第 15 号

目 次

ノルウェーのオープン保育施設に関する一考察 —日本の子育て支援施設との比較の観点から—	松 田 こずえ	1
数直線図の教科用図書における取り扱いの変遷 I	小 野 健太郎・梶 井 芳 明	13
授業過程における教師の見とりに関する研究の概観と展望	中 村 駿	25
「実用的スタートカリキュラム」の開発に関する研究 —小1プロブレムの解消を目指して—	田 村 正 弘	37
日本におけるアタッチメントの問題を抱える子どもの支援に関する現状と課題	河 合 信 代・須 藤 花 菜・今 福 理 博	49
科学感動体験における方位概念と視点移動概念の形成 ～デジタル・アースとドローンを活用した太陽系ツアーの実践より～	松 岡 哲 史・下 村 知 愛・高 橋 典 嗣	61
◆◆◆ ◆◆◆		
『書譜』の注釈5 —執使用転の説および王書の価値について—	廣 瀬 裕 之	88

ISSN 2432-7735

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 15

CONTENTS

- A Study of Open Childcare Facilities in Norway
—From the Perspective of Comparison with Childcare Support Facilities in Japan— …MATSUDA Kozue 1
- Transition in the Treatment of Number Line Diagrams in Textbooks I … ONO Kentaro / KAJII Yoshiaki 13
- Understanding Teachers' Ways of Seeing: an Overview of Issues in the Literature
and Implications for Research on Teachers' Noticing …NAKAMURA Shun 25
- Research on the development of a “practical starting curriculum”
Aiming to Solve the "First-Grader Problems" in Elementary School …TAMURA Masahiro 37
- Current Situation and Issues in Supporting Children with Attachment Problems in Japan
……………KAWAI Nobuyo / SUTO Hana / IMAFUKU Masahiro 49
- Formation of the Concept of Azimuth and Viewpoint Movement in Emotional Scientific Experience
~From the practice of solar system tours using Dasic Earth and drones~
……………MATSUOKA Satoshi / SHIMOMURA Chie / TAKAHASHI Noritsugu 61
- ◆◆◆ ————— ◆◆◆ —————
- Annotations to *Shofu* 5: On the Theory of " Writing Position, Breathing, Curves, Balance of Force "
and the Value of WANG Xizhi's Calligraphy …………… HIROSE Hiroyuki 88

MUSASHINO UNIVERSITY Institute of Education

The academic year of 2023 (October, 2023)

武蔵野教育學論集執筆要項

2013年10月10日制定
2016年7月14日改正
2019年7月11日改正
2021年9月1日改正
2023年2月7日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文または制作ノートに投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教育学研究所研究員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) 共同研究の場合は(1)(2)が連名であれば、編集委員会での審議の上、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教育学研究所から依頼した者
- (5) その他、編集委員会が認めた者
- (6) 本学大学院生（ただし、院生単独は不可。指導教員との連名とする。）

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野教育學論集投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること

6 投稿規定

A 学術論文

- (1) 原稿は未発表のものに限る。

- (2) 原稿は、第1著者論文は単著・共著にかかわらず1人1編に限る。
- (3) 但し、次の場合は、最大2編投稿することができる。
 - ①単著1本+共著(第2著者以下)1本
 - ②共著(第1著書)1本+共著(第2著者以下)1本
 - ③共著(第2著者以下)2本
- (4) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (5) 同号の制作ノートを投稿した者は、原則として、学術論文を投稿することはできない。
- (6) 字数等
 - ①頁数・字数
10ページ程度(注、図表、写真、その他、を含む)を原則とする。
 - *横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。
 - *縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする。
 - *図表、写真は適宜文字数に換算する。
 - *図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。
 - ②用語及び文体等
現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。
 - ③書式
別表の書式例参照のこと。
- (7) 校正
原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

B 制作ノート

- (1) 研究作品写真を用いた制作ノートを投稿することができる。
- (2) 研究作品は、原則として、その年度内に制作(展覧会等での発表を含む)したものとする。
- (3) 同号の学術論文を投稿した者は、原則として、制作ノートを投稿することはできない。
- (4) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像(写真又はデータ)を提出するものとする。
- (5) 頁数等
 - ①頁数
4ページ以内【研究作品掲載(カラー)1ページ、及びその解説等3ページ以内(白黒)】とする。
 - ②その他
*学術論文に準ずる。
- (6) 校正
*学術論文(7)に準ずる。

7 掲載の採否・順序等

- (1) 掲載の採否は、査読を経て、編集委員会が決定する。

- (2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。
- (3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。
- (4) 執筆者には、紀要 5 部、別刷 20 部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷 20 部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

本要項は、「武蔵野教育学論集」第 15 号の執筆・編集から施行する。

*編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になった。法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、ようやく個人の選択を尊重し、国民の自主的な取組をベースとした対応に変わった。よって、マスクをすることも個人の自由となり、街中でもマスクをしていない人が徐々に増えている。コロナ前に戻りつつあることに少し安堵の感がある。しかし、新たに感染する人がまだ存在、また新たに予防接種の通知が發送されるという。まだまだ安心できないようだ。

今年度は、学校法人武蔵野大学創立99周年。100周年まであと1年となった。来年5月の創立記念日に向けて、キャンパス内の壁や柱にこれを祝う壁画が貼られ、雰囲気盛り立てている。開催されるいろいろな行事に注目したい。

ここに第15号が完成。執筆された方々に深く感謝申し上げます。

(編集委員 廣瀬・峰・高牧・勘米良)

武蔵野教育学論集 第15号

2023年10月10日発行

編 集 武蔵野教育学論集編集委員会

発 行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585

東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印 刷 株式会社 創文

〒135-0016

東京都江東区東陽4-11-38 JMFビル東陽町01

電話 03-6634-2573

【武蔵野大学教育学部における紀要発行の歴史】

通号	名 称	発行年月日	発 行
1	教育研究所紀要 第1巻第1号	2012・3・1	教育研究所
2	教職研究センター紀要 第1巻第1号	2013・3・1	教職研究センター
3	第2号	2014・3・1	教職研究センター
4	第3号	2015・3・1	教職研究センター
5	第4号	2016・3・1	教職研究センター
6	武蔵野教育学論集 創刊号	2017・3・1	* 教職研究センター
7	第2号	2017・8・15	教育学研究所
8	第3号	2017・9・1	教育学研究所
9	第4号	2018・3・1	教育学研究所
10	第5号	2018・9・30	教育学研究所
11	第6号	2019・3・1	教育学研究所
12	第7号	2019・10・1	教育学研究所
13	第8号	2020・3・1	教育学研究所
14	第9号	2020・10・10	教育学研究所
15	第10号	2021・3・10	教育学研究所
16	第11号	2021・10・10	教育学研究所
17	第12号	2022・3・10	教育学研究所
18	第13号	2022・10・10	教育学研究所
19	第14号	2023・3・10	教育学研究所
20	第15号	2023・10・10	教育学研究所

* 2017・4・1より教育学研究所設立により紀要名を先行して改称